

平成31年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	北堀 けさ江
	全体計画						経費区分		-		内線	3152
事務事業名	4055 契約事業											
所 属	050300 総務部・財政課											
施 策	07024500 長期的展望に立った財政運営											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	020105 総務費・総務管理費・財産管理費										
	事業	020000 契約事業										
事業目的						事業概要・効果						
入札・契約事務における、より一層の透明性、公平性、競争性を確保する。						公共工事の入札及び契約の適正化を促進し、入札の透明性の確保、公正な競争の促進、適正な施工の確保のため、必要に応じて入札・契約制度の条例規則等の改正を行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
入札及び契約に関する公表要領の見直し・策定 入札心得の見直し・策定（郵便での入札書等の提出方法について詳細に定める） 委託業務等の最低制限価格の引上げ	須崎市公共調達発注方針の策定 建設工事等入札参加資格要件の見直し（社会保険等の加入を追加） 建設工事入札参加資格の主観点数加点項目（個人住民税特別徴収実施企業）の追加
平成29年度 実績	平成30年度 実績
建設工事の前払金の支払限度額の撤廃 備品購入における一般競争入札の適用	入札時のくじ引き対策について検討した。また設計額の修正にともなう入札延期方法等について取扱いを定めた。
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
入札・契約制度の随時見直し	入札・契約制度の随時見直し

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		2,065	2,200
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		2,065	2,200
人員数(人)	正規職員	1.3	1.3
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.2	0.0
人員コスト	正規職員	9,295.0	9,295.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	249.0	0.0
	計	9,544.0	9,295.0
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		11,609.0	11,495.0

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	50	消耗品費50
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,015	システム使用料等2015

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	100	消耗品費100
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,100	業者管理支援システム、契約管理支援システム、検査管理支援システムの使用料等2,100

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	公共調達の実行は市民の生命・財産を守るうえで必要不可欠である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	入札執行にあたり、より公平公正で競争性のある入札の機会を、多くの業者の皆さんに提供する努力をかさねた。制度の見直しを図った。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	それぞれの立場の皆さんのご意見を確認しながら、公平公正に、より良い入札制度にしていく必要がある。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

入札制度等検討委員会を開催し、積算疑義申し立てに関する事務の取扱等を定めた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>工事等の発注量が減少する中で、より多くの業者が納得する入札方法を引き続き検討する。公平・公正な契約事務に向けて、職員のスキルを向上させる必用あり。</p>		<p>入札の透明性の確保、公正な競争の促進、適正な施工を行うため、必要に応じて入札・契約制度の条例規則等の改正を行うなど、公平・公正な契約事務を継続する。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	